

新撰雜記  
 門記  
 二

別置

444  
 2







新撰大工雜形卷二目錄

平之間山門

唐棟門

唐八心足門

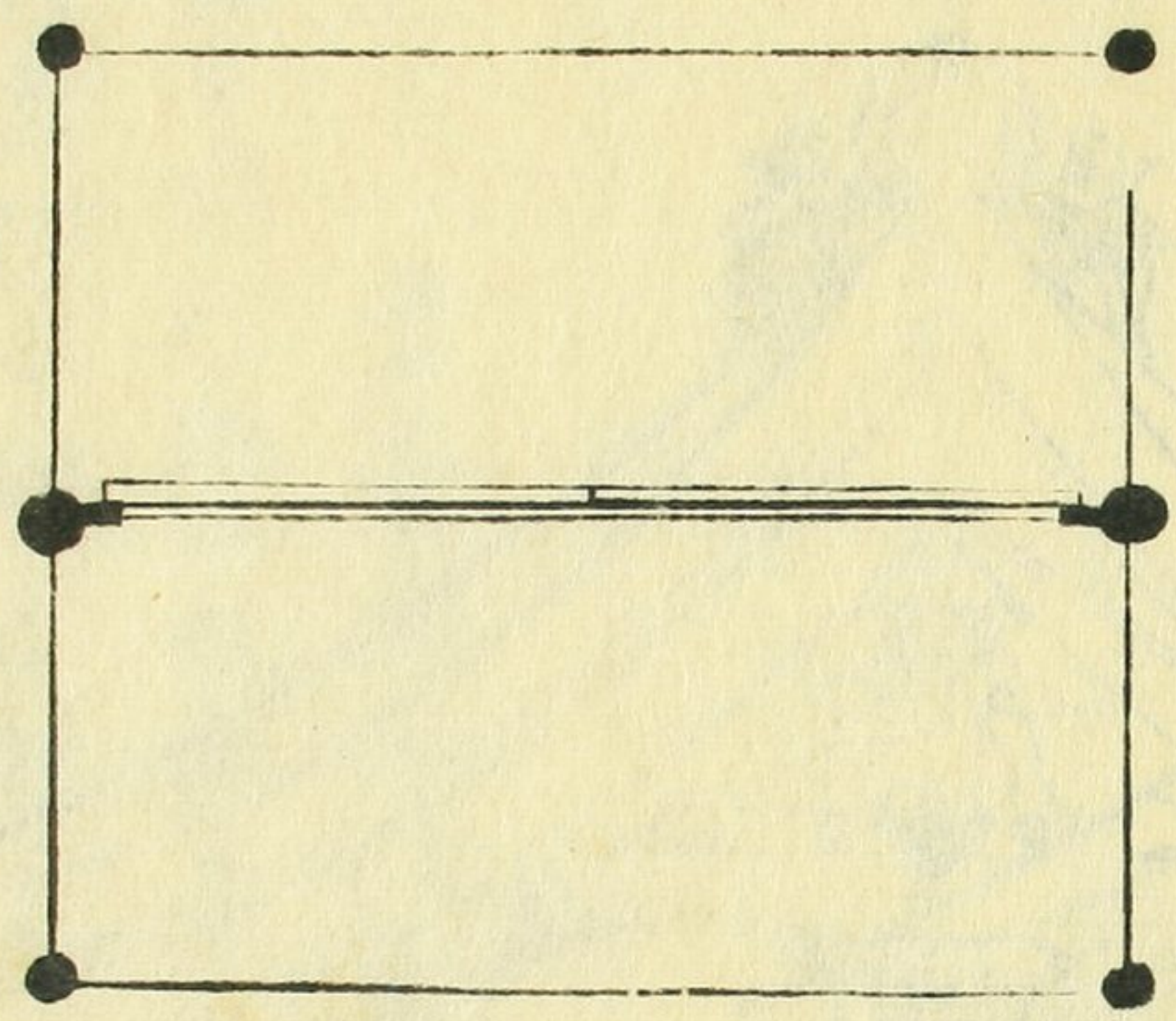
出組四心足門

朱萑門

平梯門

南大門



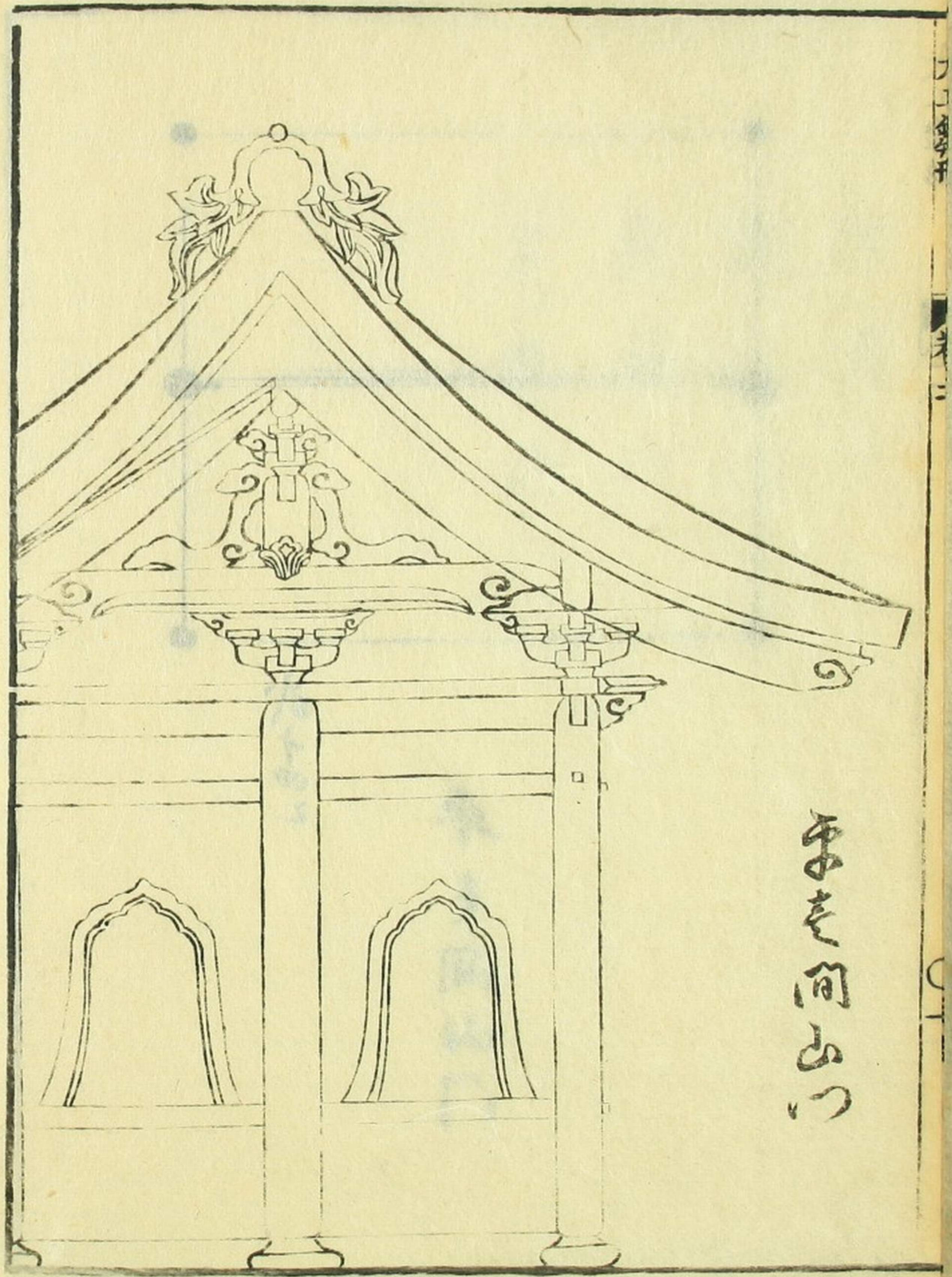


外十四

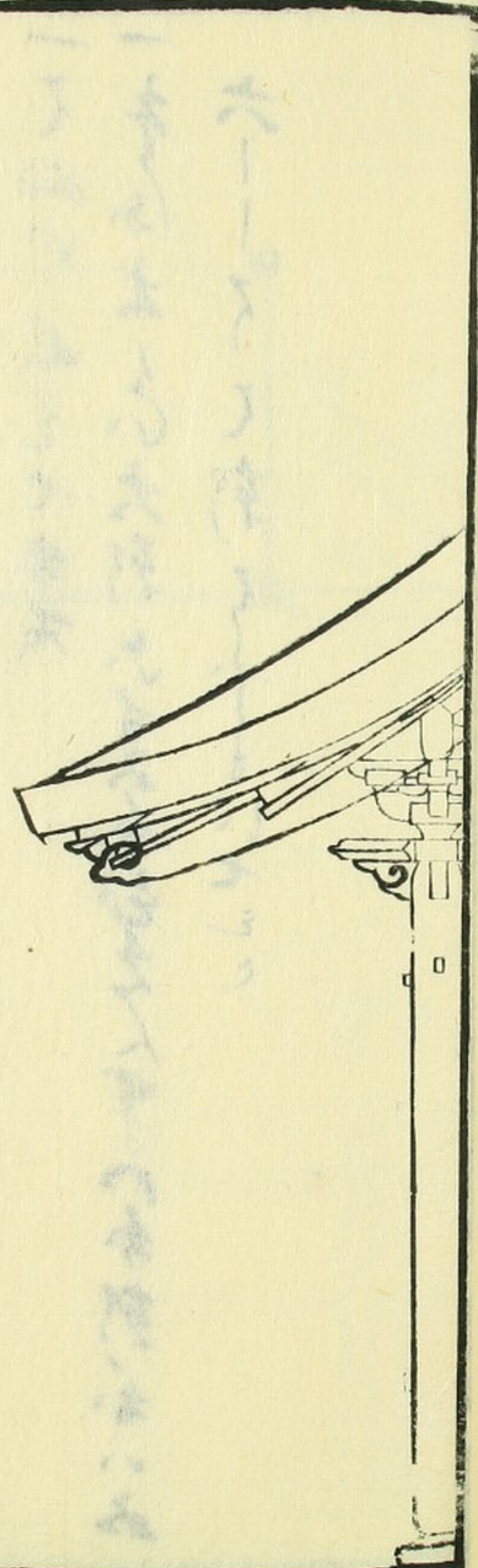
平走間山門

安	安	安	安
喜	喜	喜	喜
門	門	門	門





平臺間山門



平臺間山門本割

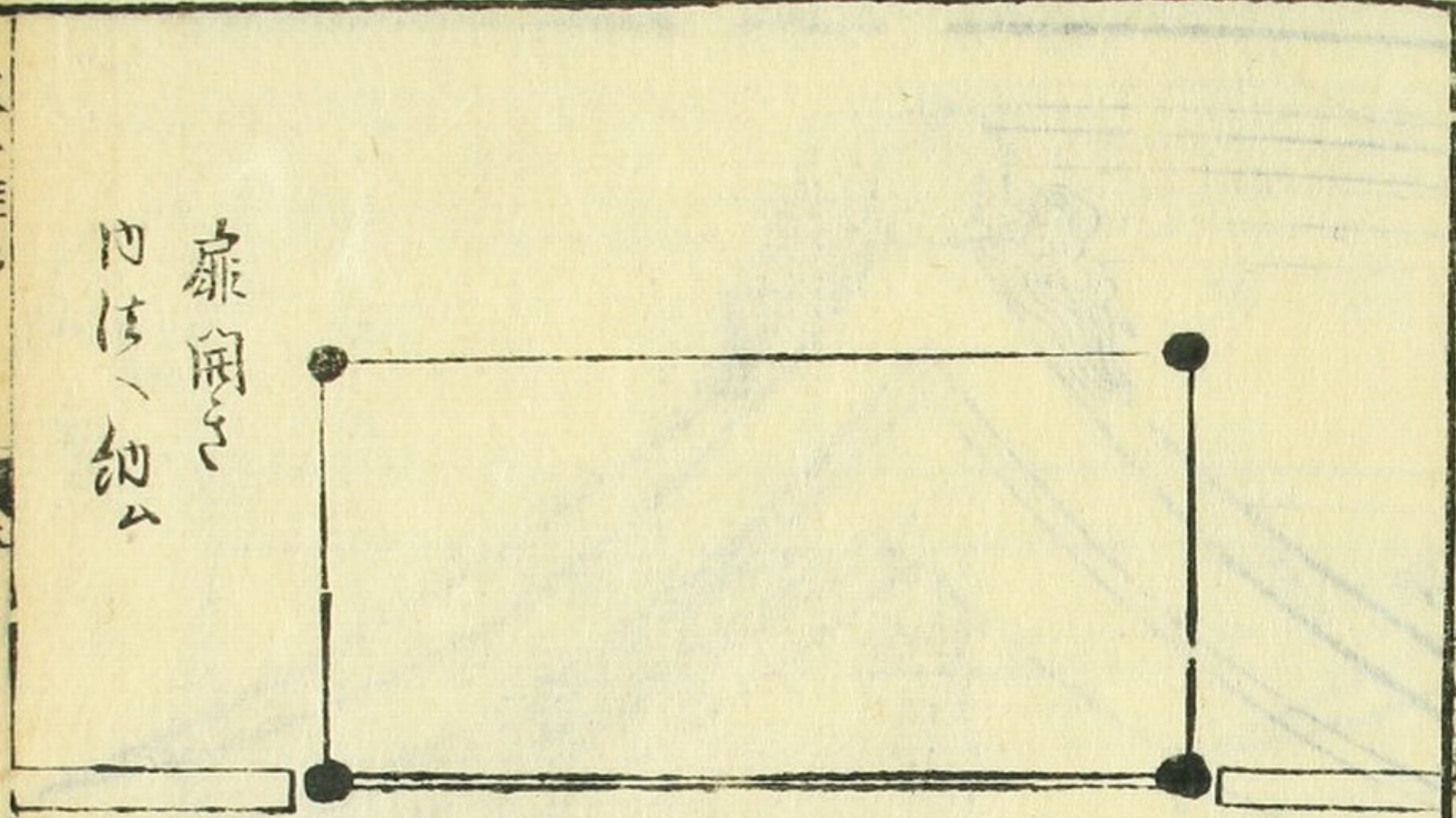
一向ノ門式拾四枚掛ありて妻乃万とらんと圖ニ  
 柱内は小押止也  
 一板大サ多ク式分がどくは柱と申柱とハ朱ノト



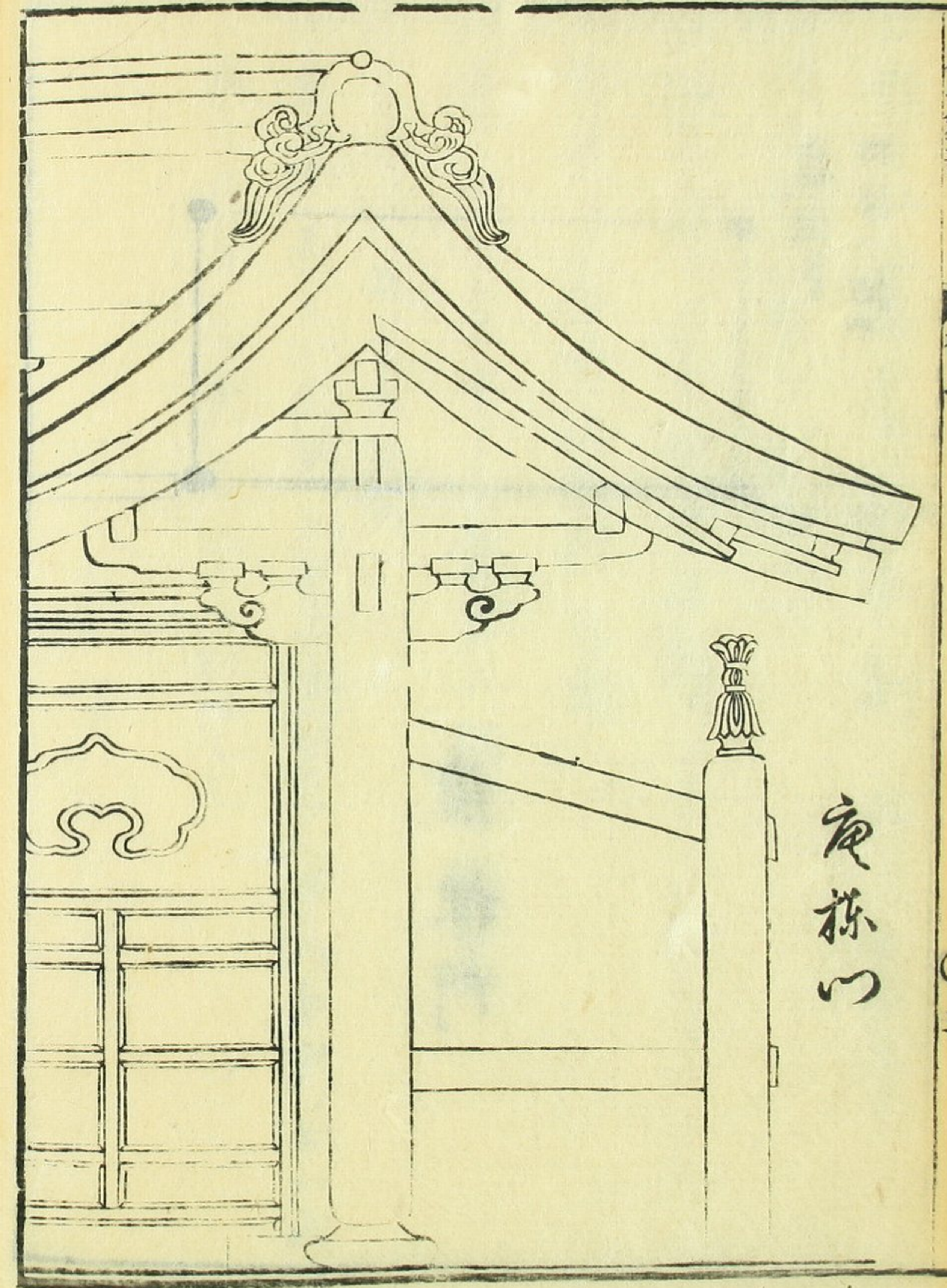
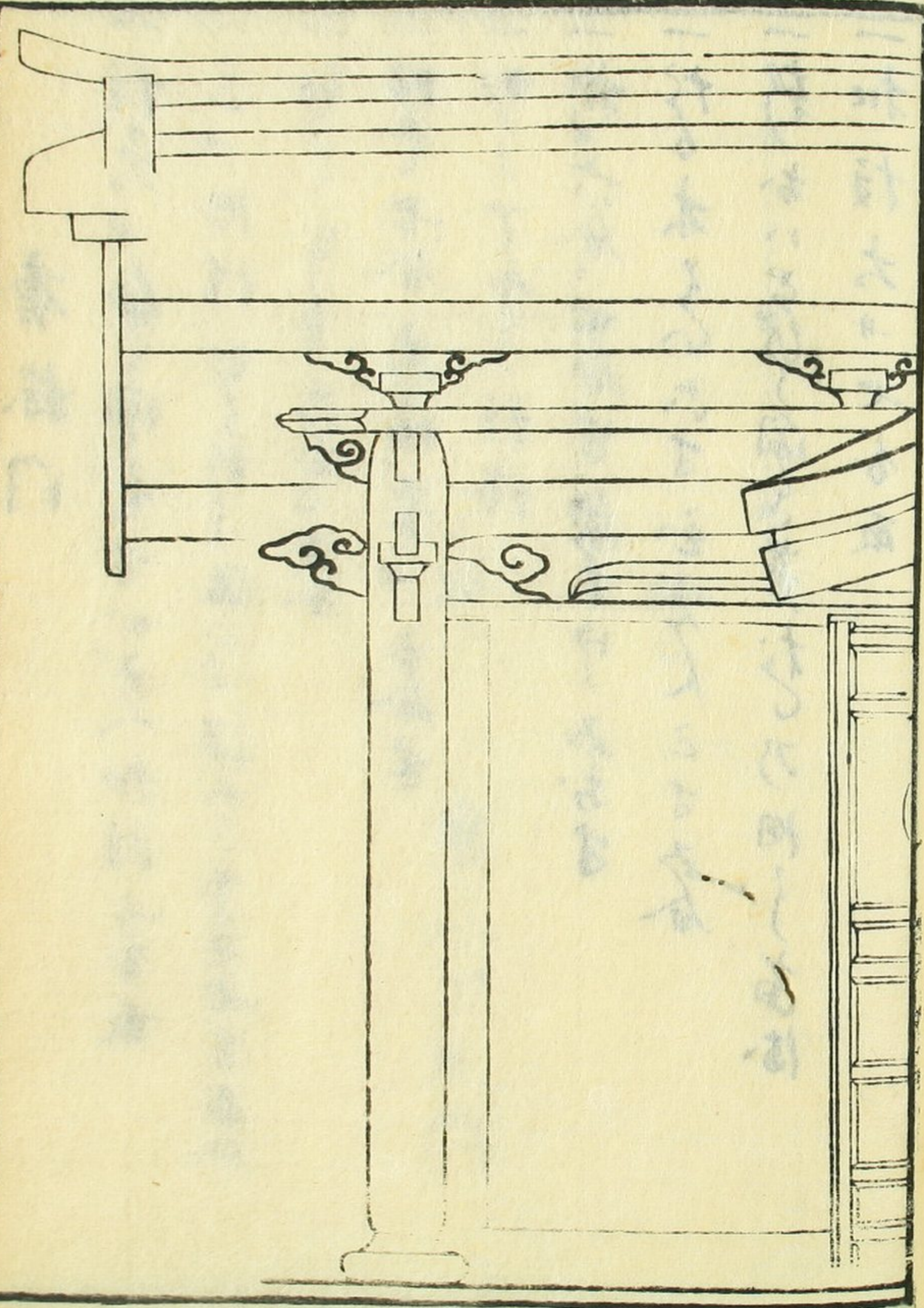
- 一 距地八分取厚廿寸五分
- 一 平樹厚廿二分
- 一 極中五分取腰中五分
- 一 枋貫と印せぬ枋を本
- 一 櫓重二寸五分下より貫上のほぐし枋を
- 一 とぬ中長七寸五分
- 一 本は本より大朝五分五分と人字の五分朝の五分
- 一 六寸五分と朝五分五分と五分五分

唐棟門

扉開き  
内は細い





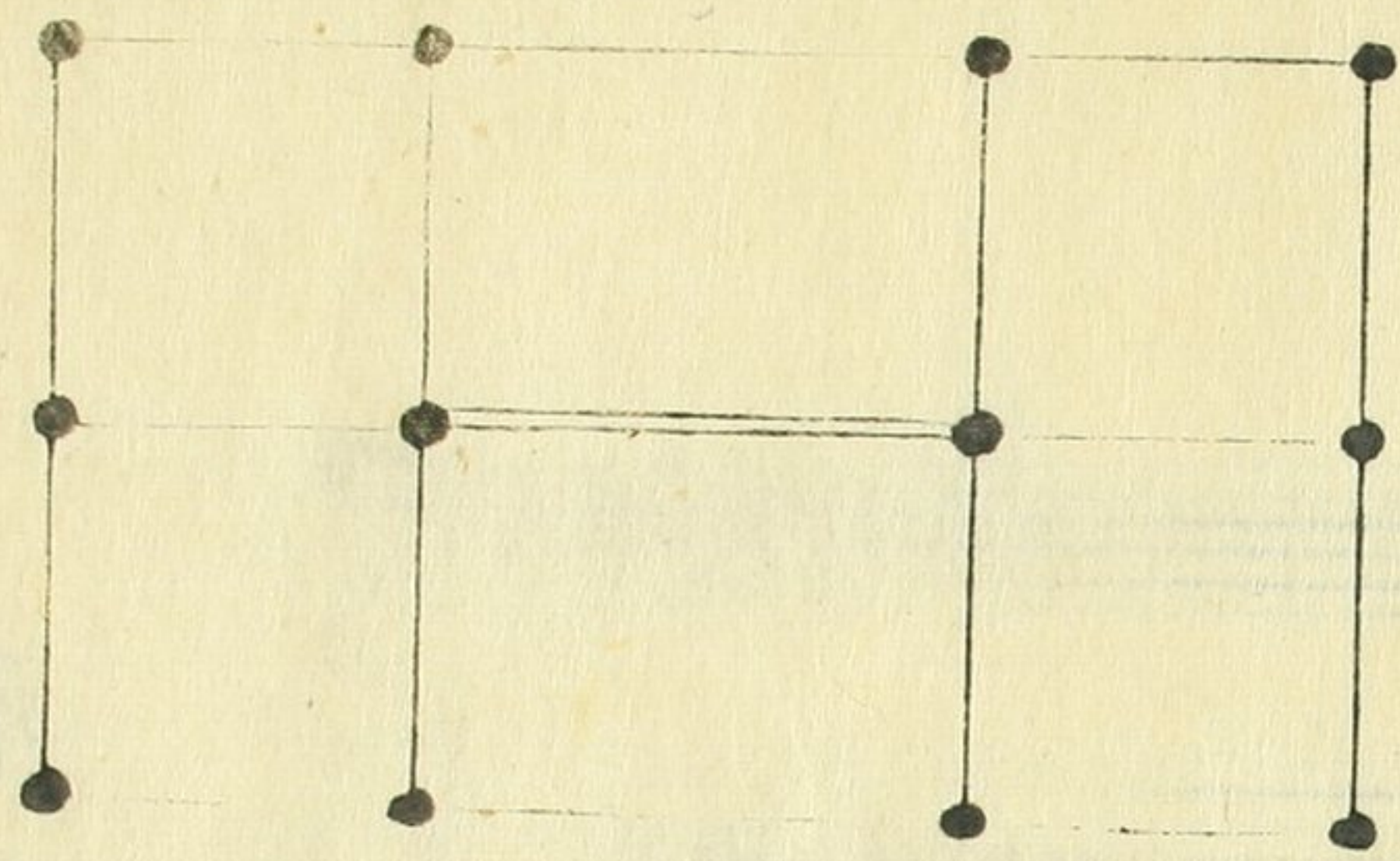


實棟門



唐栌門

- 一 栌六寸 向同之寸 以之入 栌柱七分取
- 一 三寸 加法 以之形 上口方 滿之 中七寸五分
- 一 以之形 以之形 四分
- 一 以之七分 大楠厚 廿二分
- 一 以之 以之 柱徑
- 一 以之 六分 四分 生 緣木 中五分
- 一 以之 木 以之 六寸 以之 入 三寸五分
- 一 以之 以之 以之 以之 乃 同之 以之
- 一 以之 栌六寸 七分取



拾三

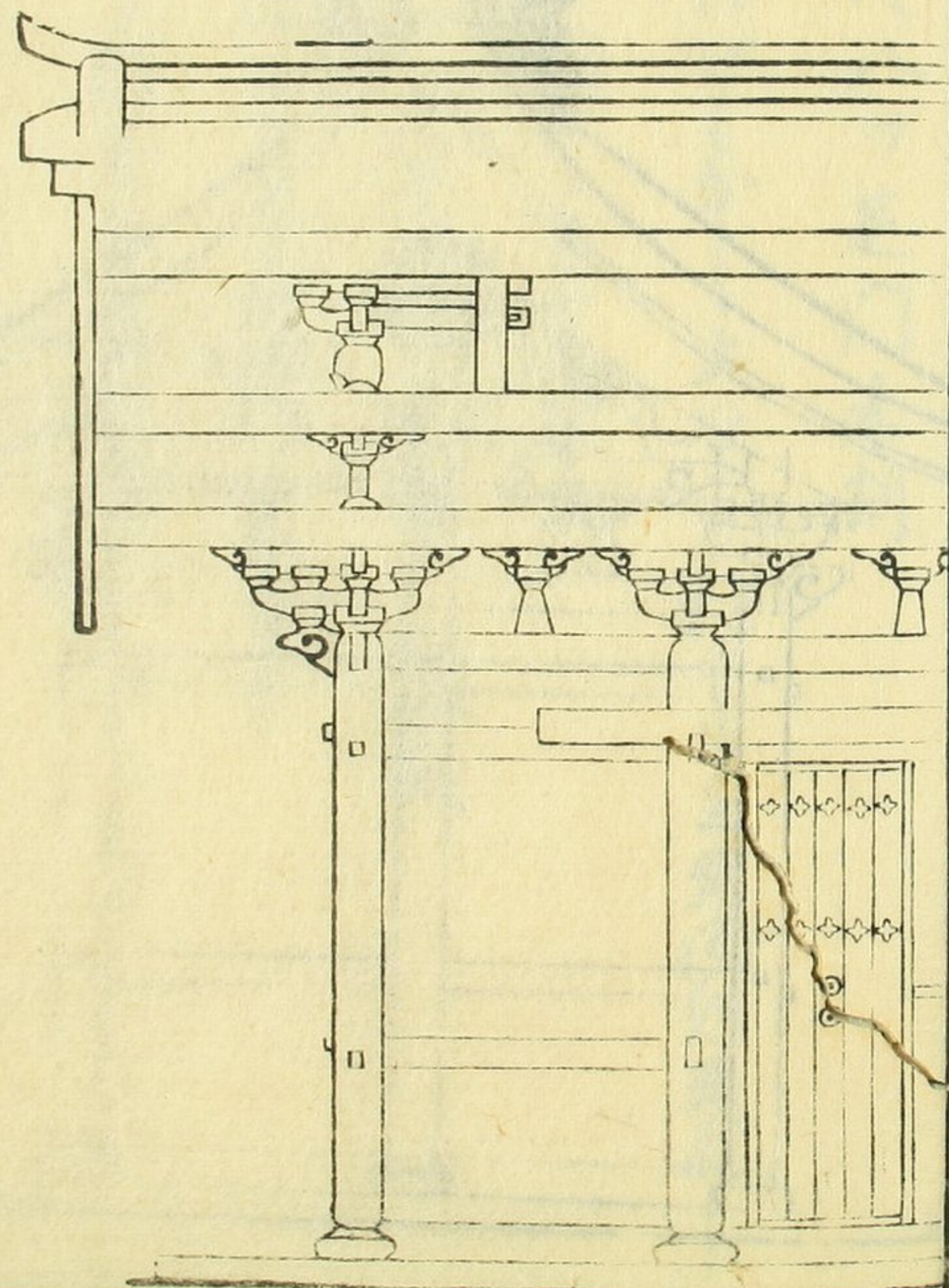
拾八

拾三

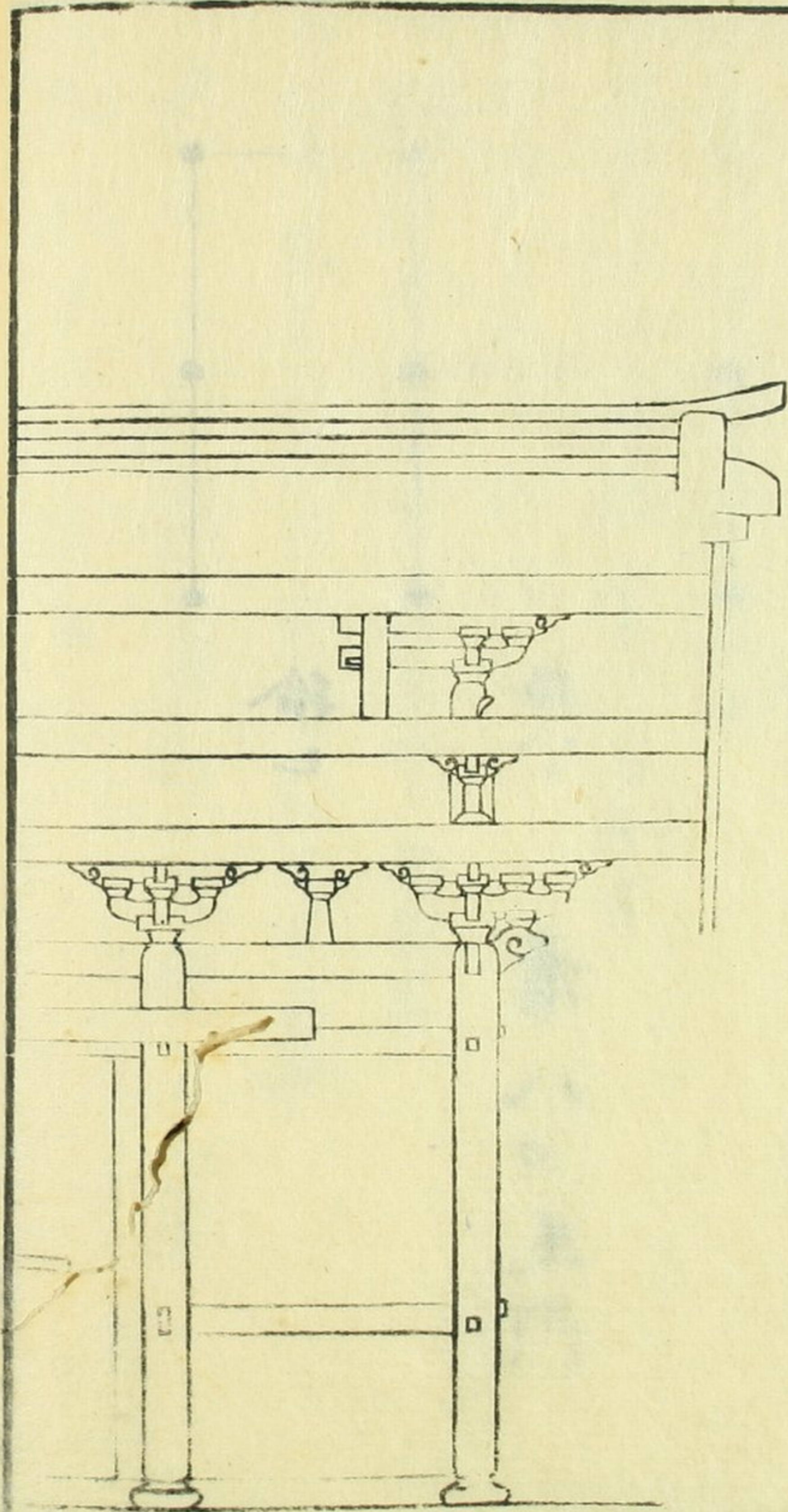
唐八寸足門

大工雜形 卷之二





唐八ツ足門







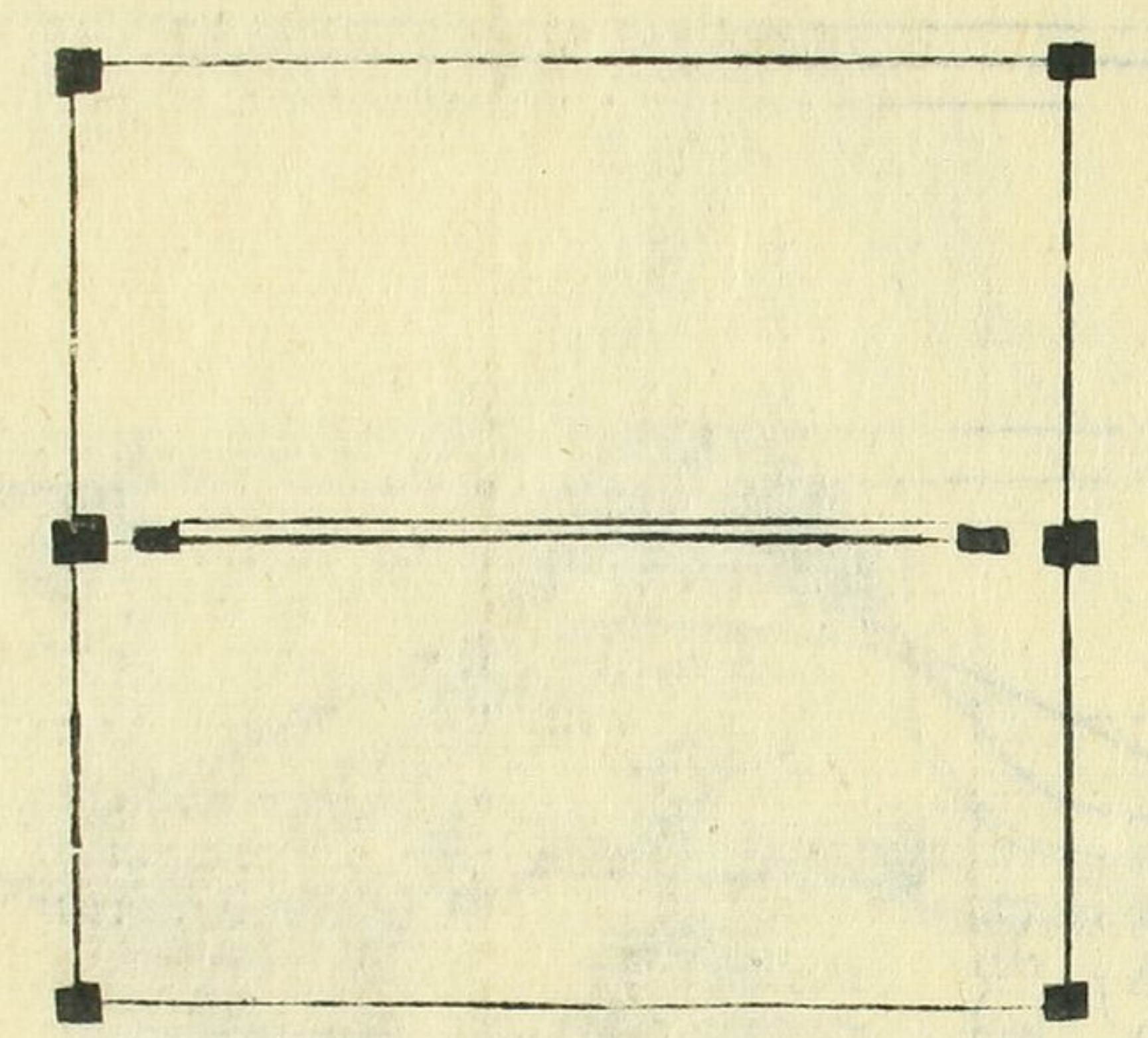


一 折八分 = 五分 (寸)

一 一斗 (斗) 寸 折 (寸)

一 一斗 (斗) 寸 八分 = 大折 (寸) 五分 (寸)

五分 (寸) 五分 (寸) 五分 (寸)

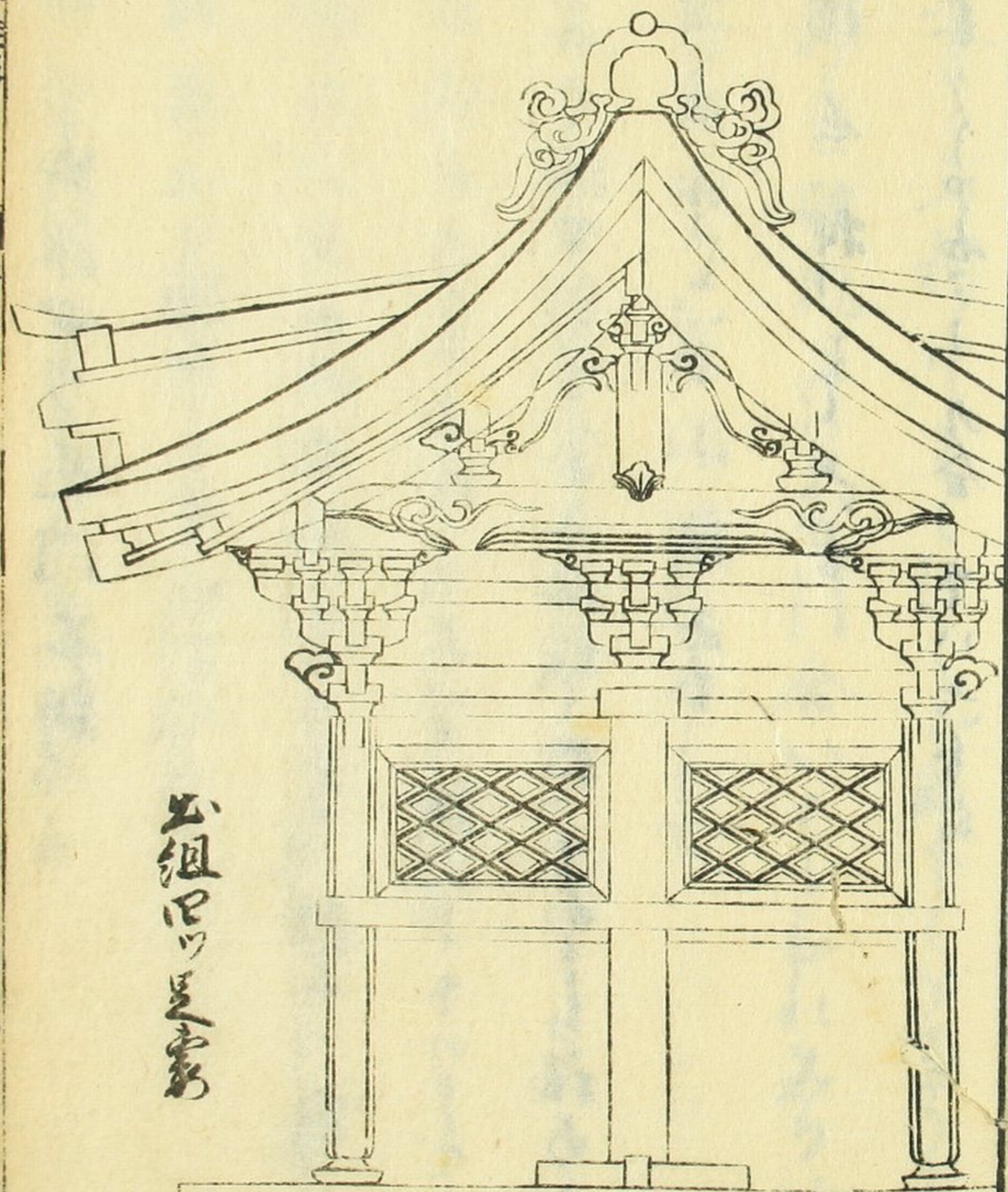


六寸

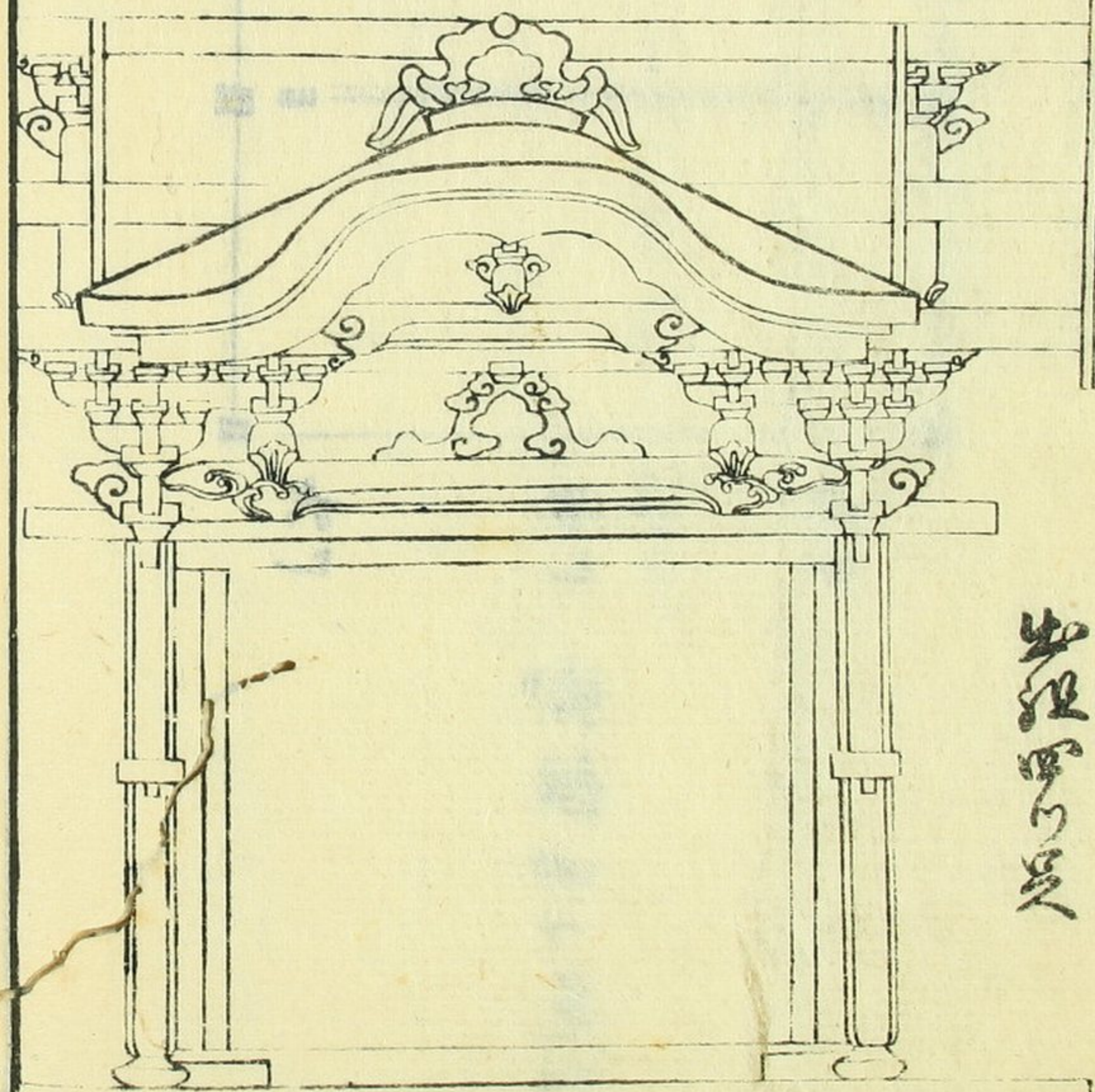
六寸

サレ 出組 四ツ足 門





五組  
口  
足  
書



五組  
口  
足  
書



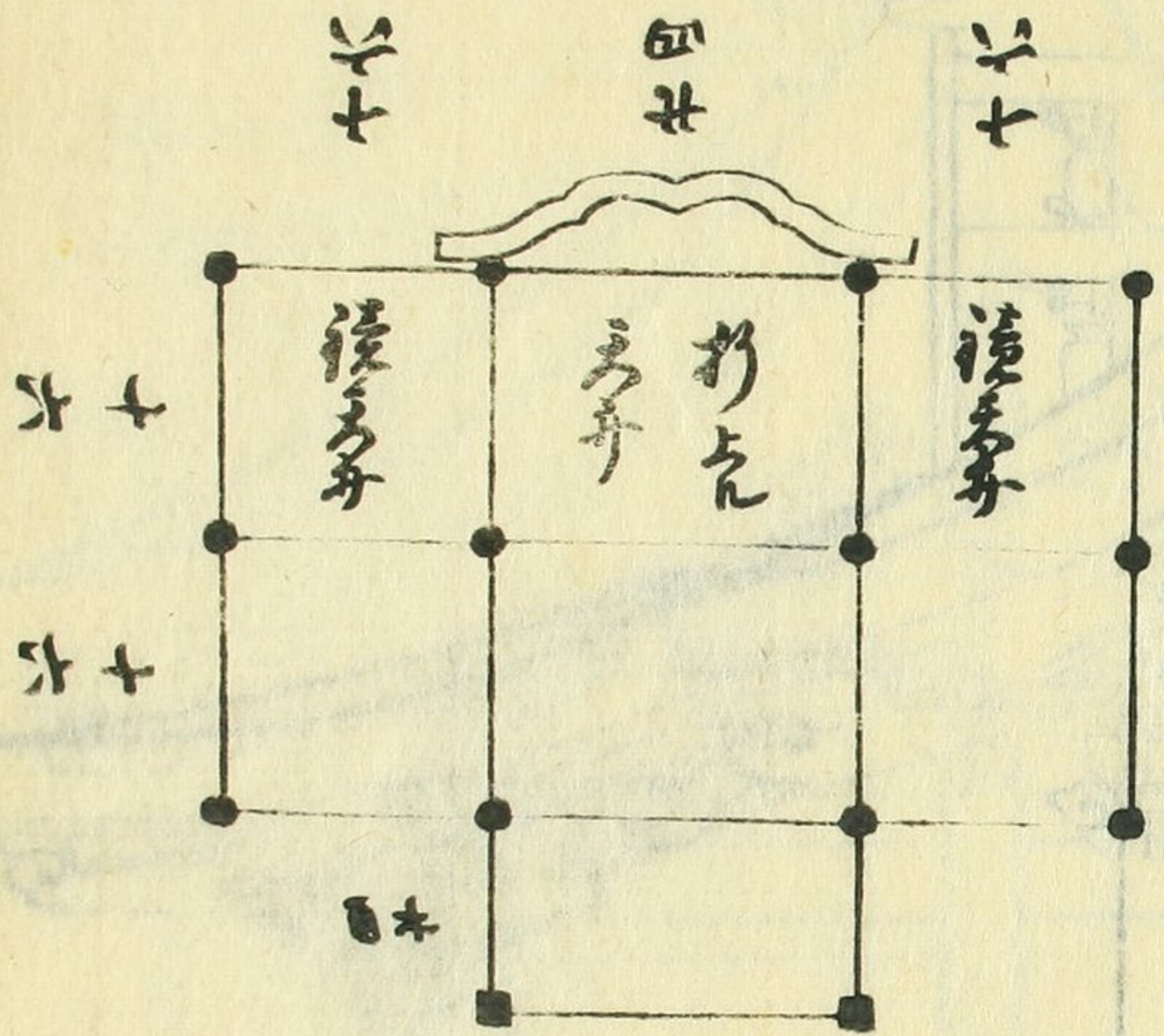
由証四ツ足門本割

- 一 柱六カ 同ありさかそ
- 一 袖柱八カ 右側電橋七カ 厚サ 柱三ツ割
- 一 地ほ七カ ありあり 上はほろろ 下はほろ
- 一 妻の間にしるしをなす 袖柱八カ 妻の間にほろ
- 一 一方立中六カ 小根あり
- 一 一徳七カ 押しとも六カ
- 一 妻の間にしるしをなす 九カ 下は六カあり

一 廿一 ぶ棚中まをいづくも 殿下ととも 中り上棟の  
 所を破風上りまを引合いとも むれみり 割  
 其の四ツ足門はありて

- 一 一とふ妻はありとも七カあり
- 一 一のがき厚さ五分 中いへりあり
- 一 一とふの地ほり等 電故上りより 破電下とほろ
- 一 一とふの柱のありり 中いへりあり
- 一 一とふの梁柱のありり 中いへりあり

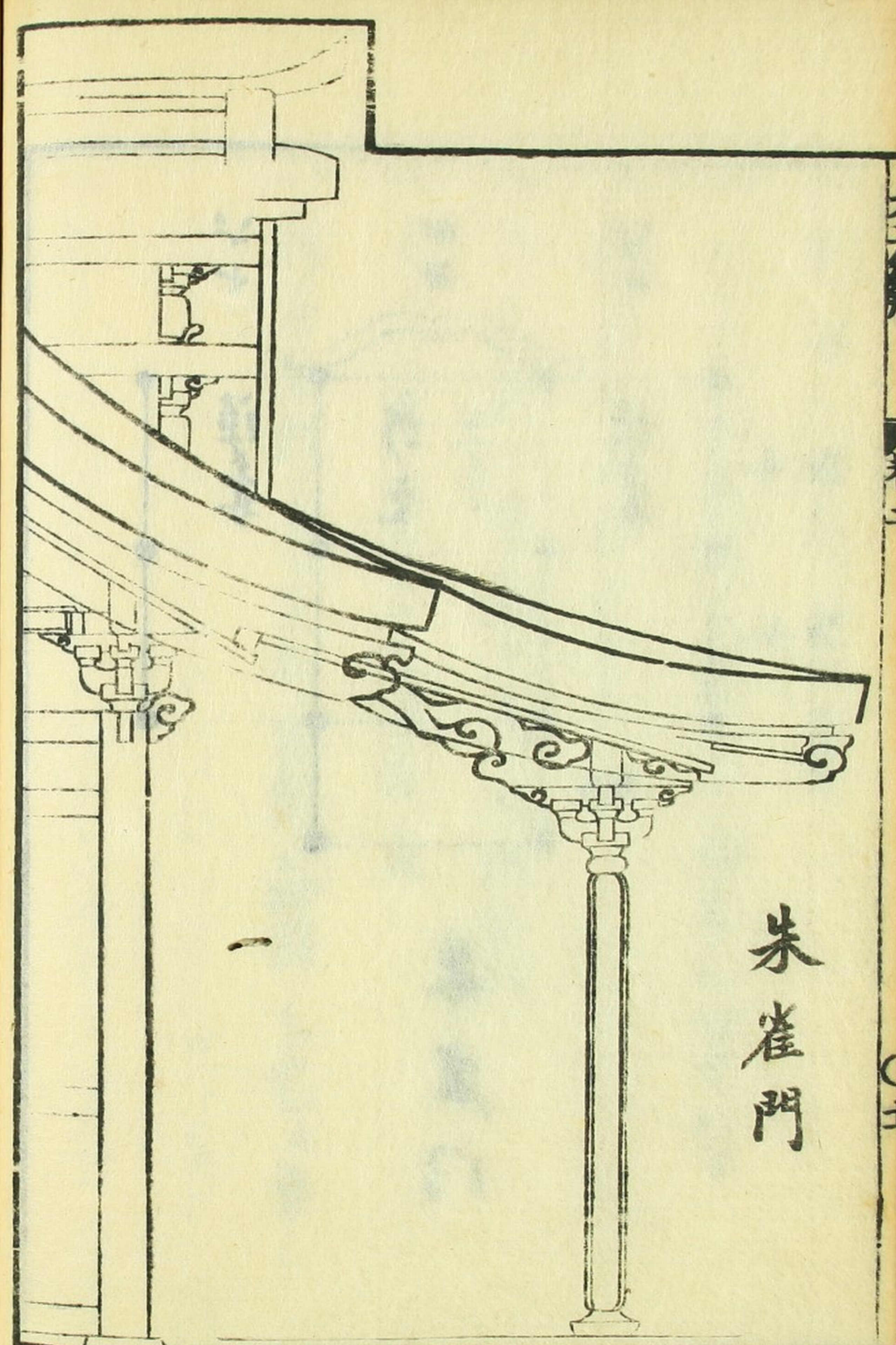
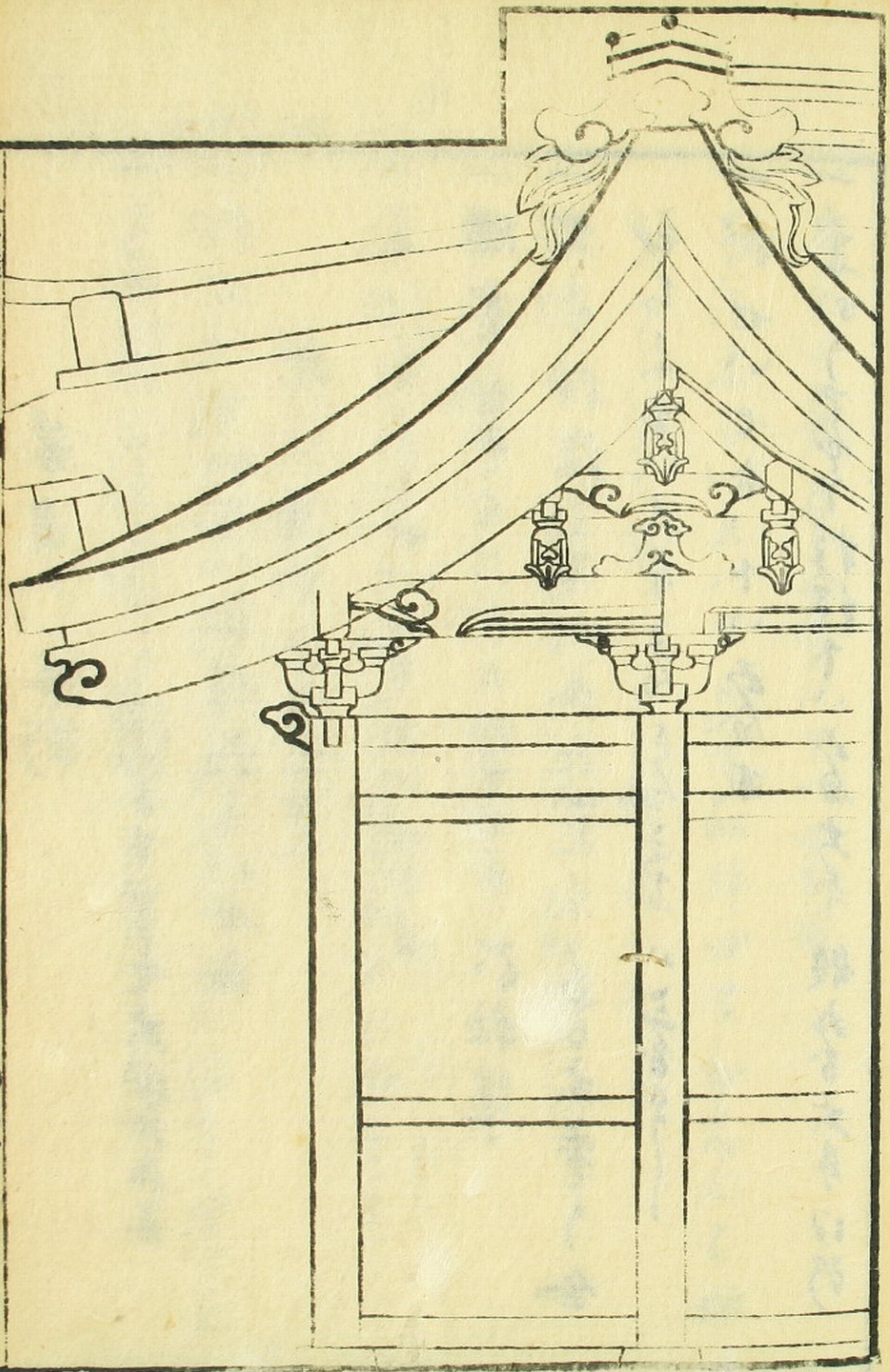




朱雀門

- 一 軒せい七分、平いふ
- 一 のうまの太軒六寸五分、印名人四寸五分
- 一 軒おの五枚六一
- 一 軒く軒破風と七枚出
- 一 とふ中長さ七寸五分
- 一 坊斗中柱と、す外本割、神柱と定△



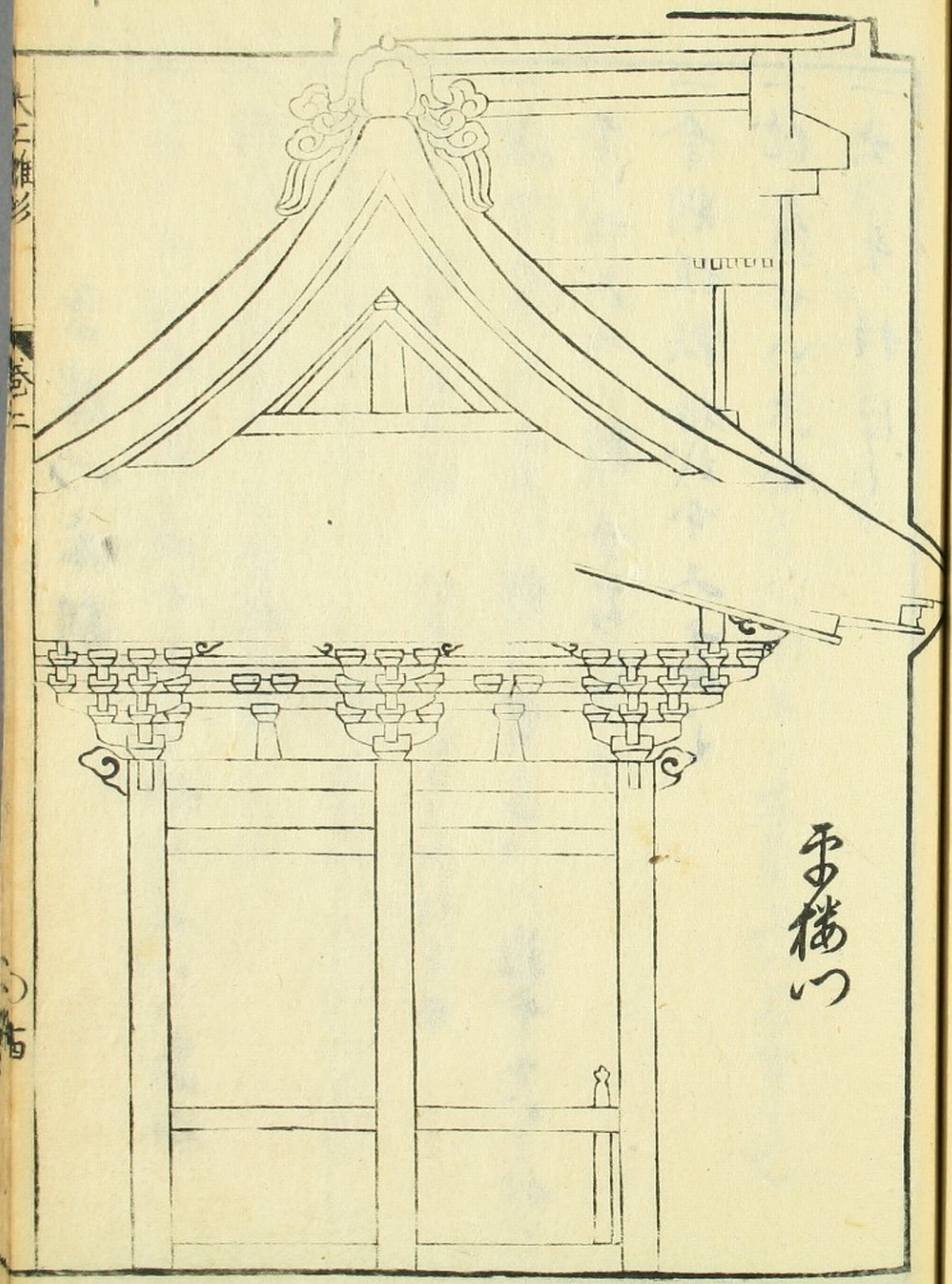


朱雀門

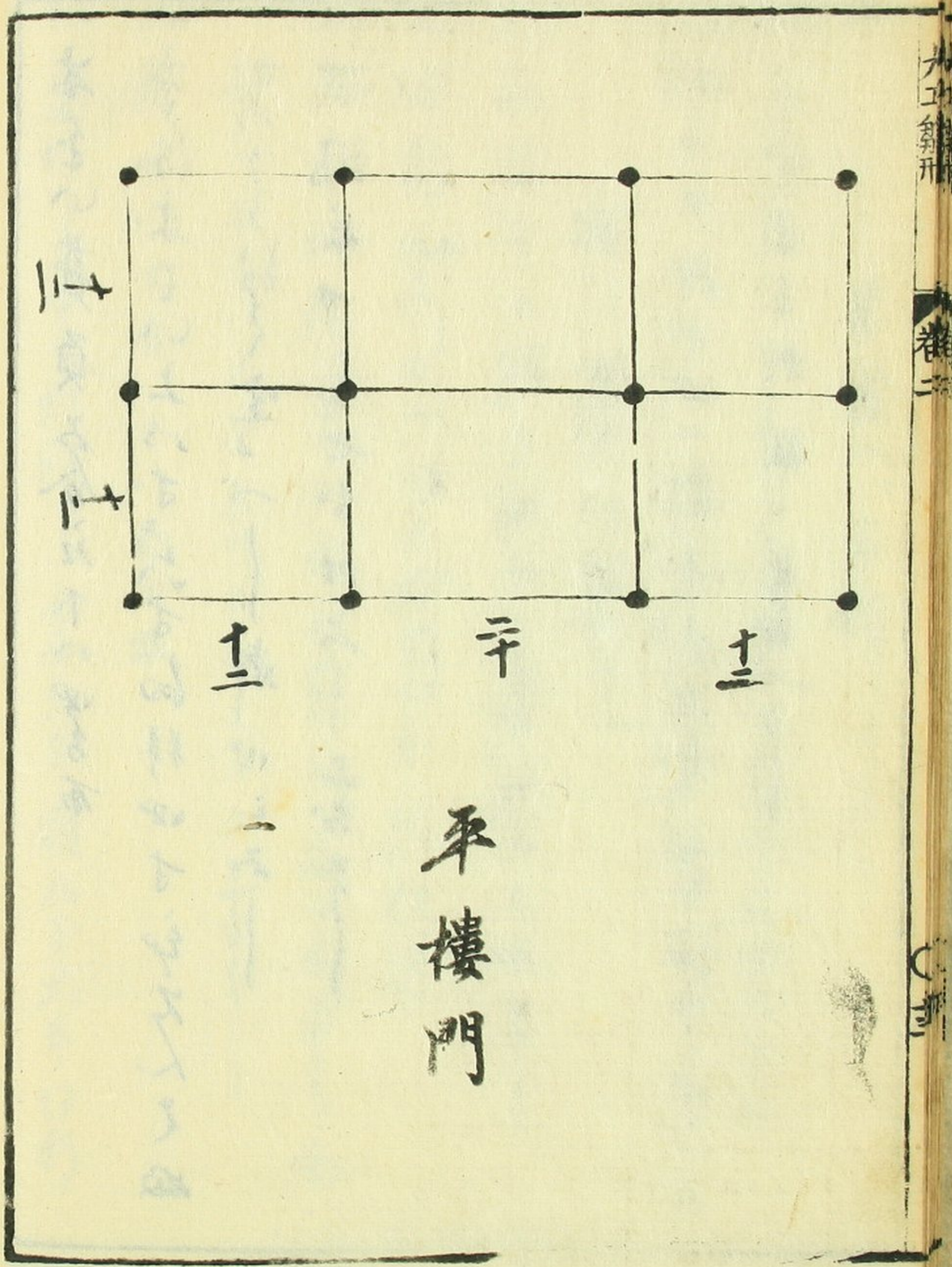








平櫓門

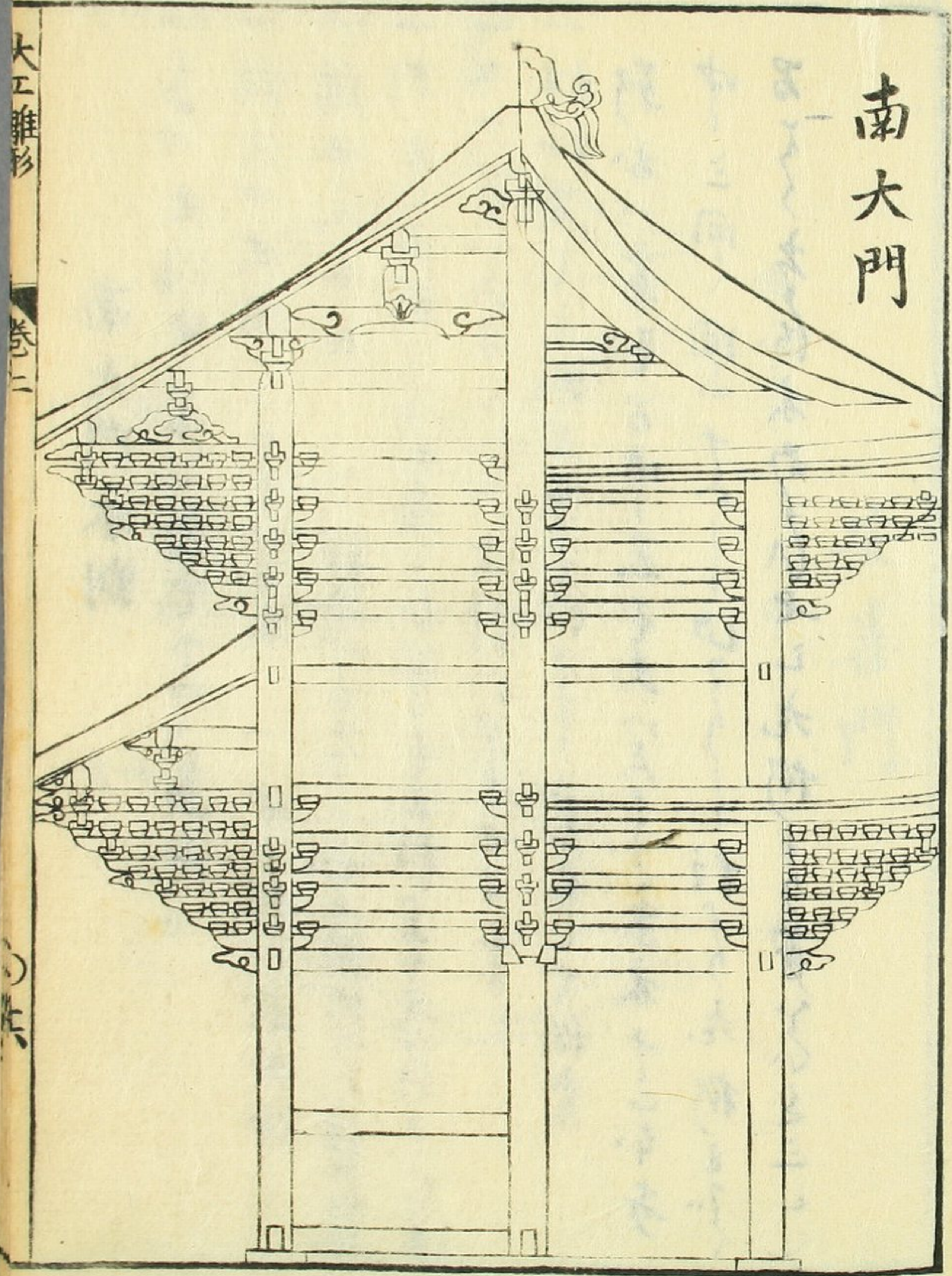


平櫓門

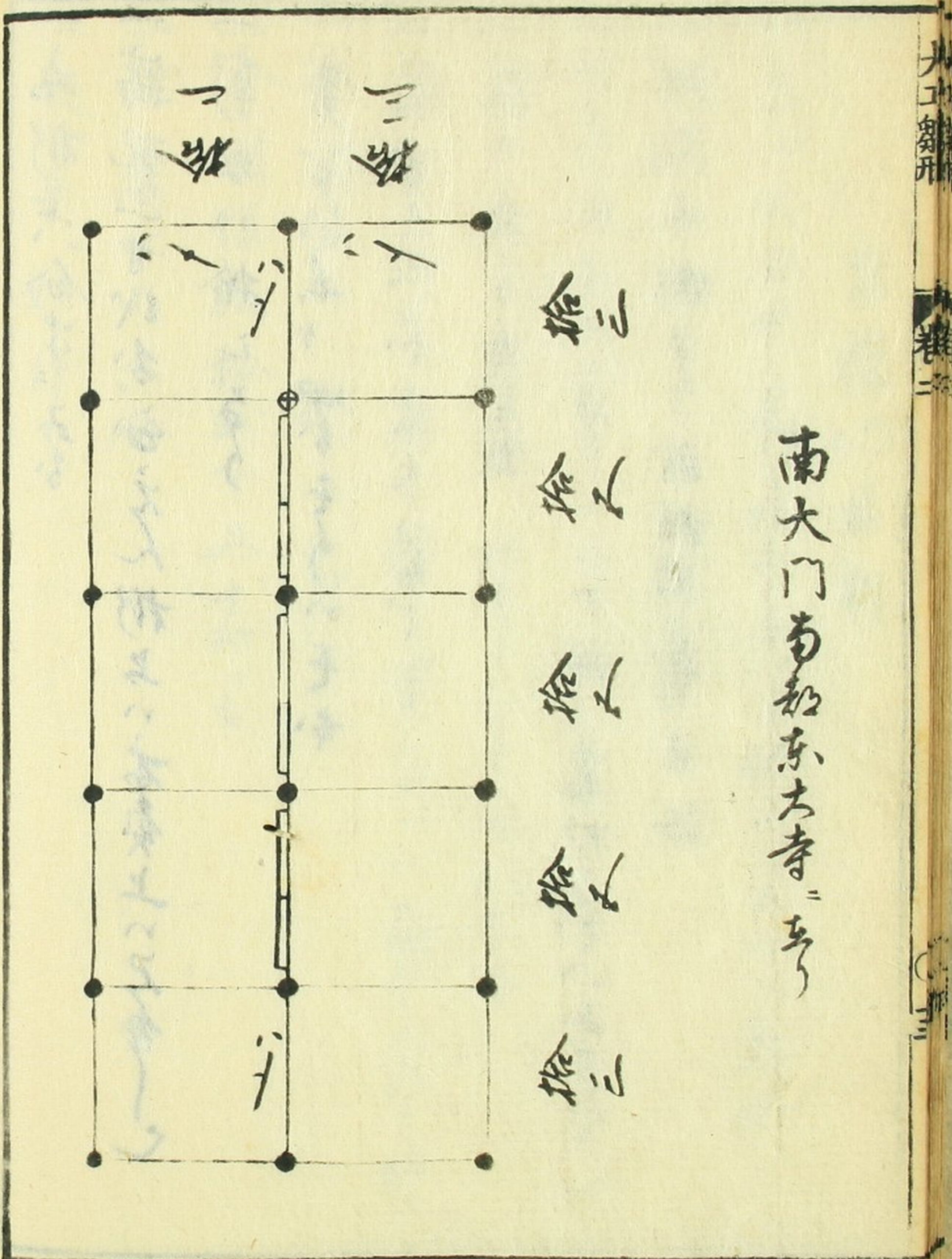








南大門



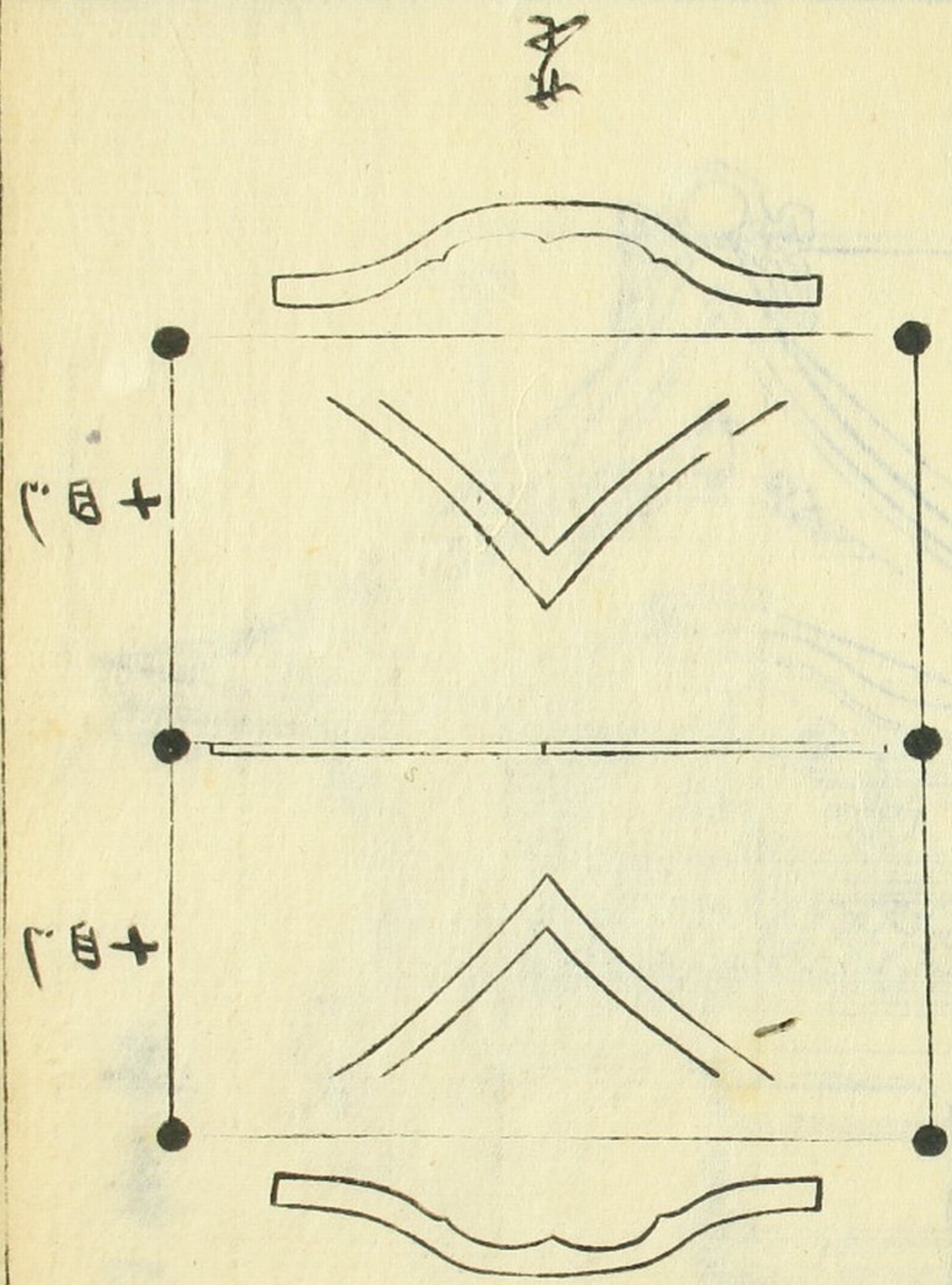
南大門南初東大寺



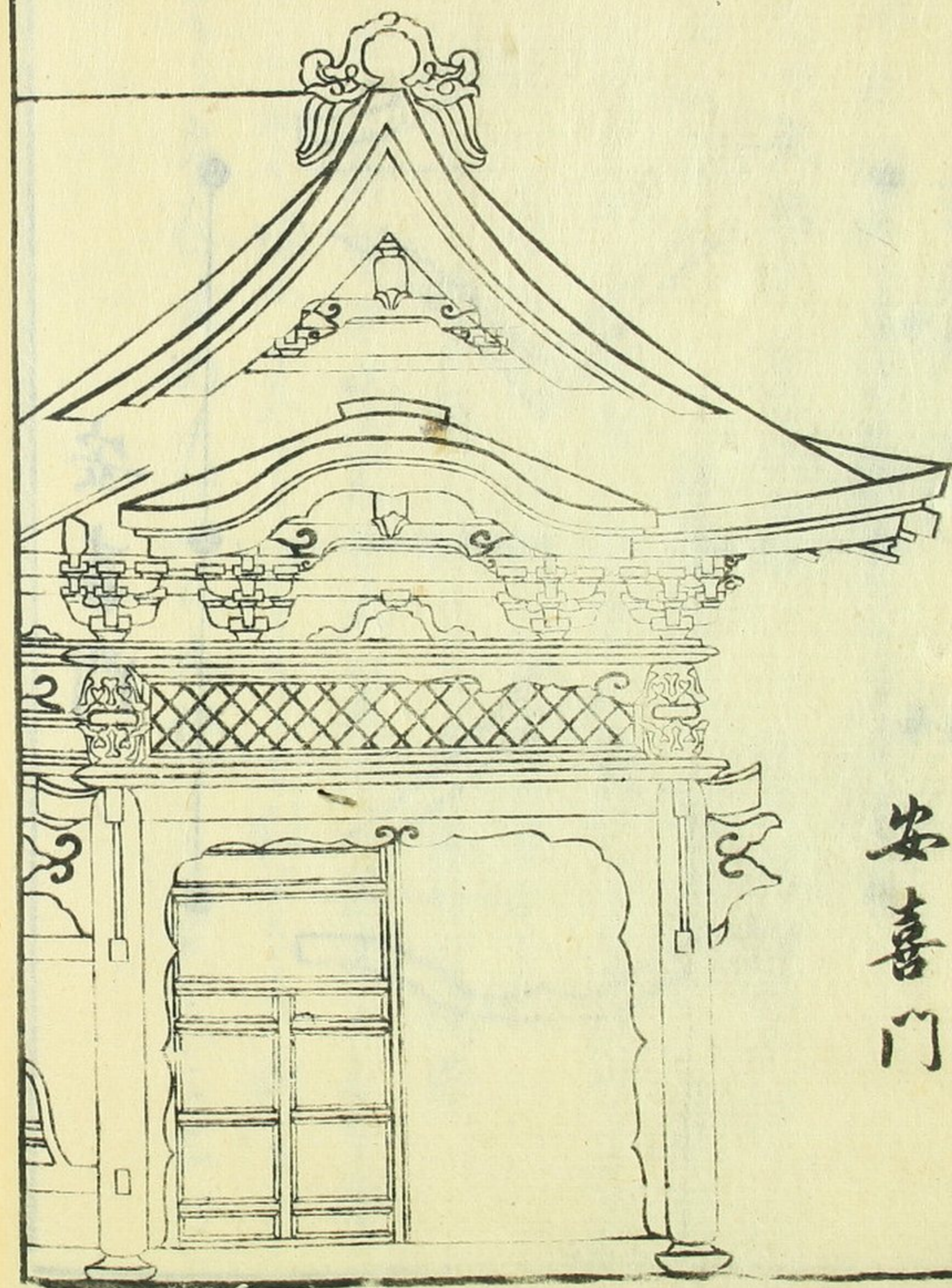
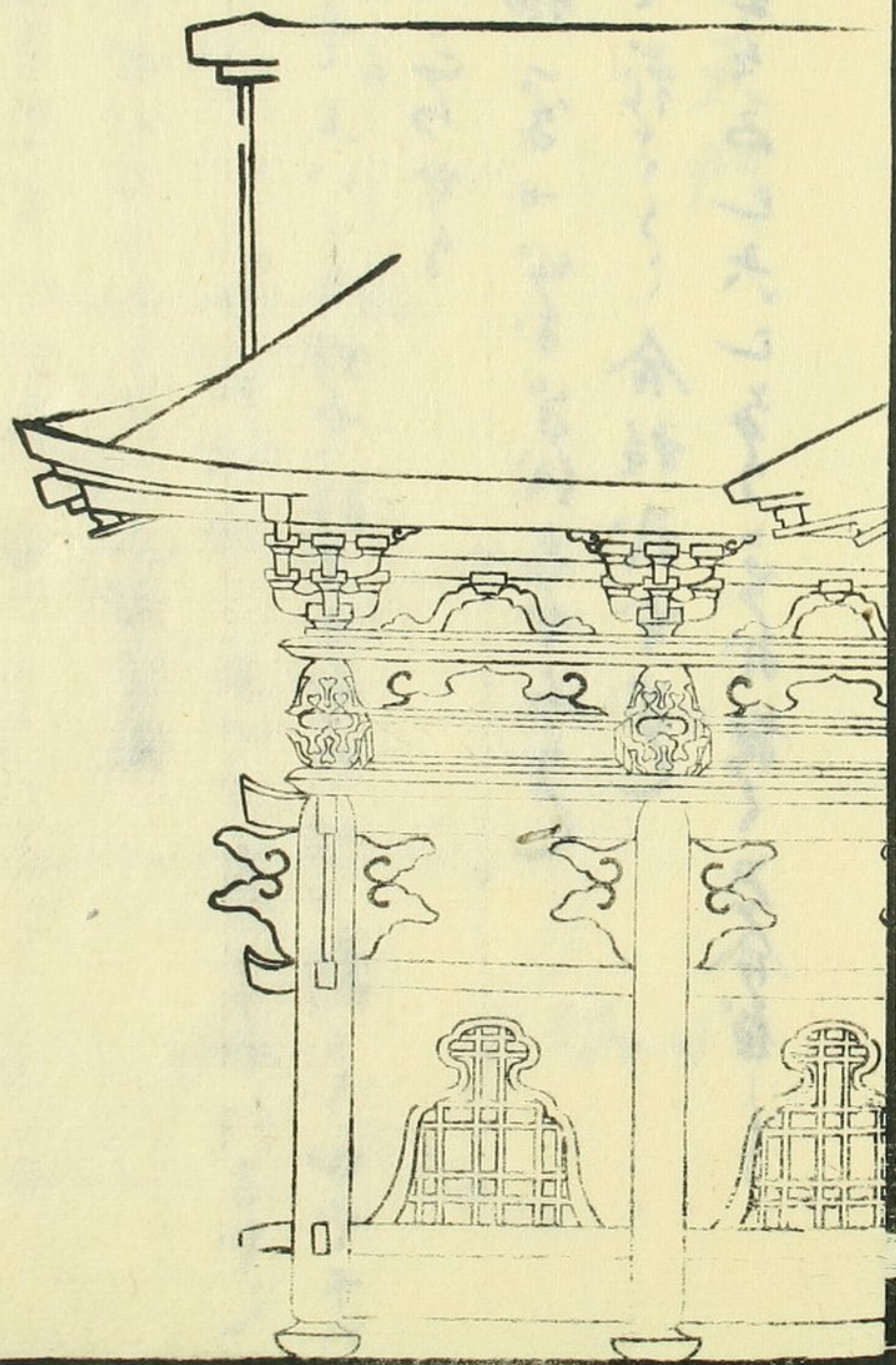
南大門木割

一 言廿大門中窓と飛下りの高は  
 一 柱大廿大間と三寸貳分取 一 中柱の貳分取  
 一 檼母六分取 一 梁物七寸五分取  
 一 折おの丸檼よりかまとい面を三枚の上平丸は  
 一 下乃とい五分取 一 上引の七寸五分取  
 一 仕極るより物上下の  
 一 折おの妻を石中窓を  
 一 中との間へ向ふ十五  
 一 石より丸檼より  
 一 石より丸檼より

安喜門





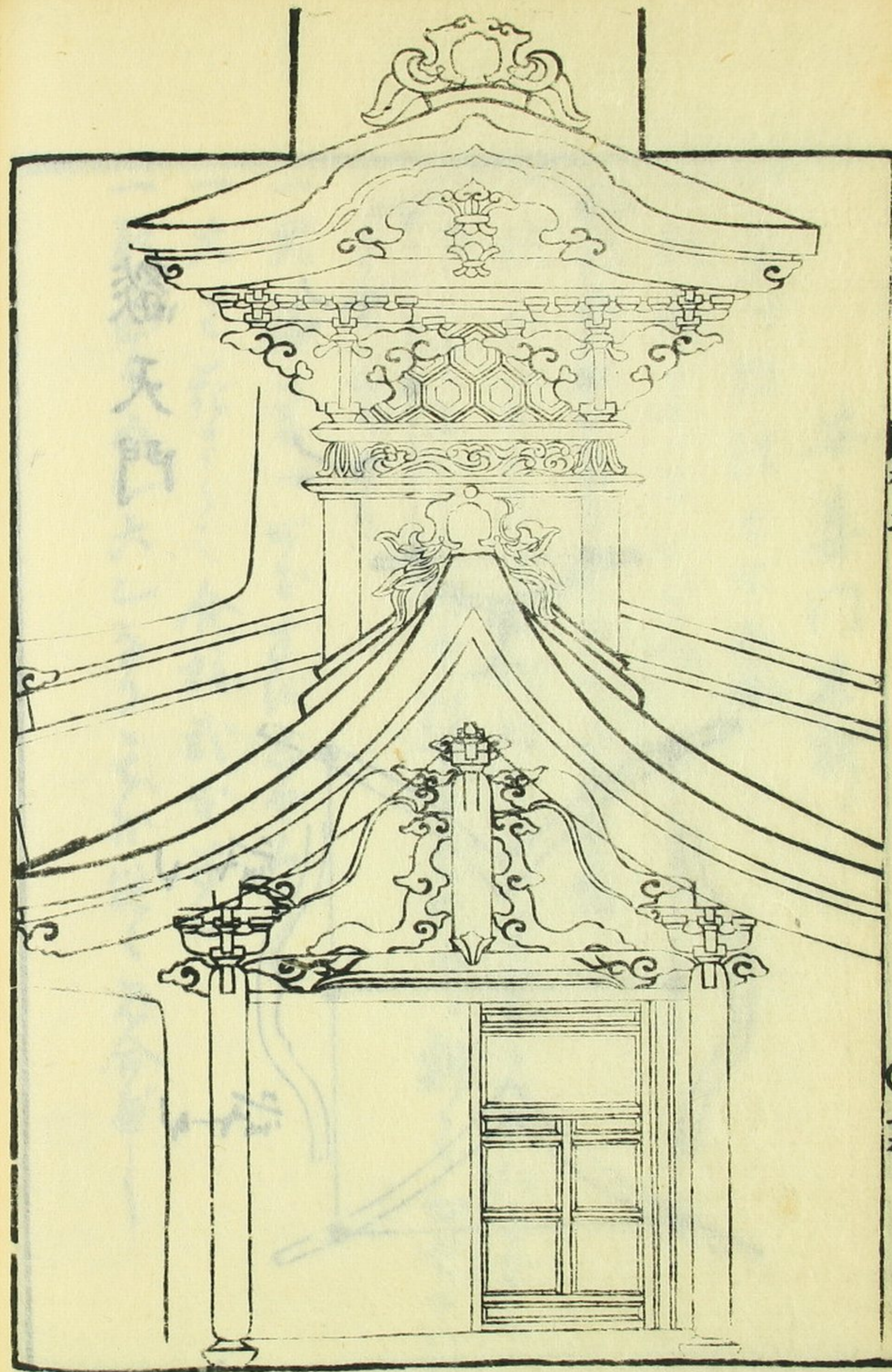


安喜門









齧 天門木割

- 一 寸廿四はけりきりし上よりほくま下りてすこ
- 一 柱方廿四寸間を二分取
- 一 大外柱を二分取外柱を三分取木割を二分取合丸
- 一 桁上を二分取七分取五分取五分取
- 一 下乃高きく五分取七寸五分取五分取五分取



一とぬ長サ七分半取

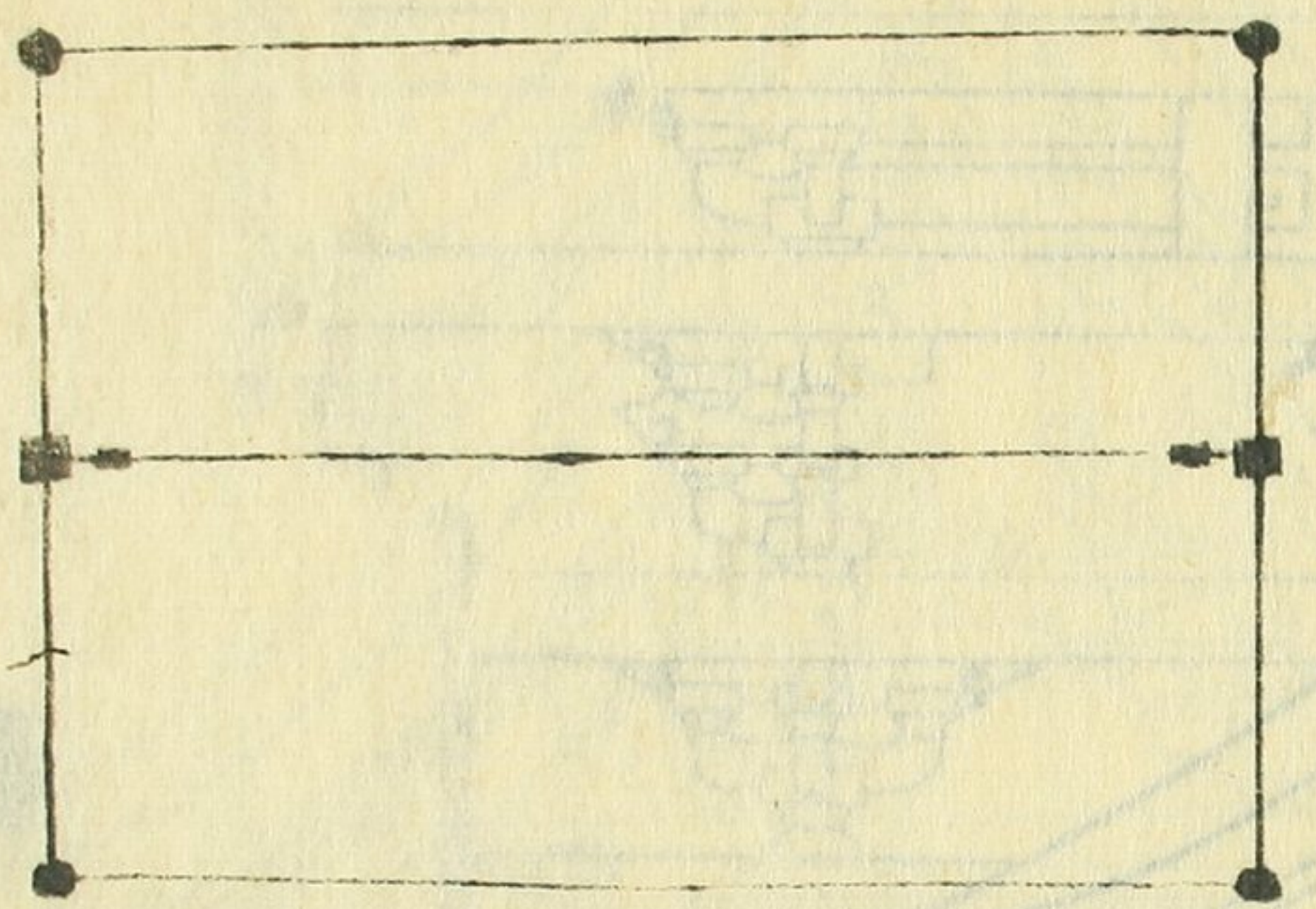
一上ノ重サを引けりて中長サ一合

半取からさへむしぬ桁ノ間二十枚を

重サ七こたり

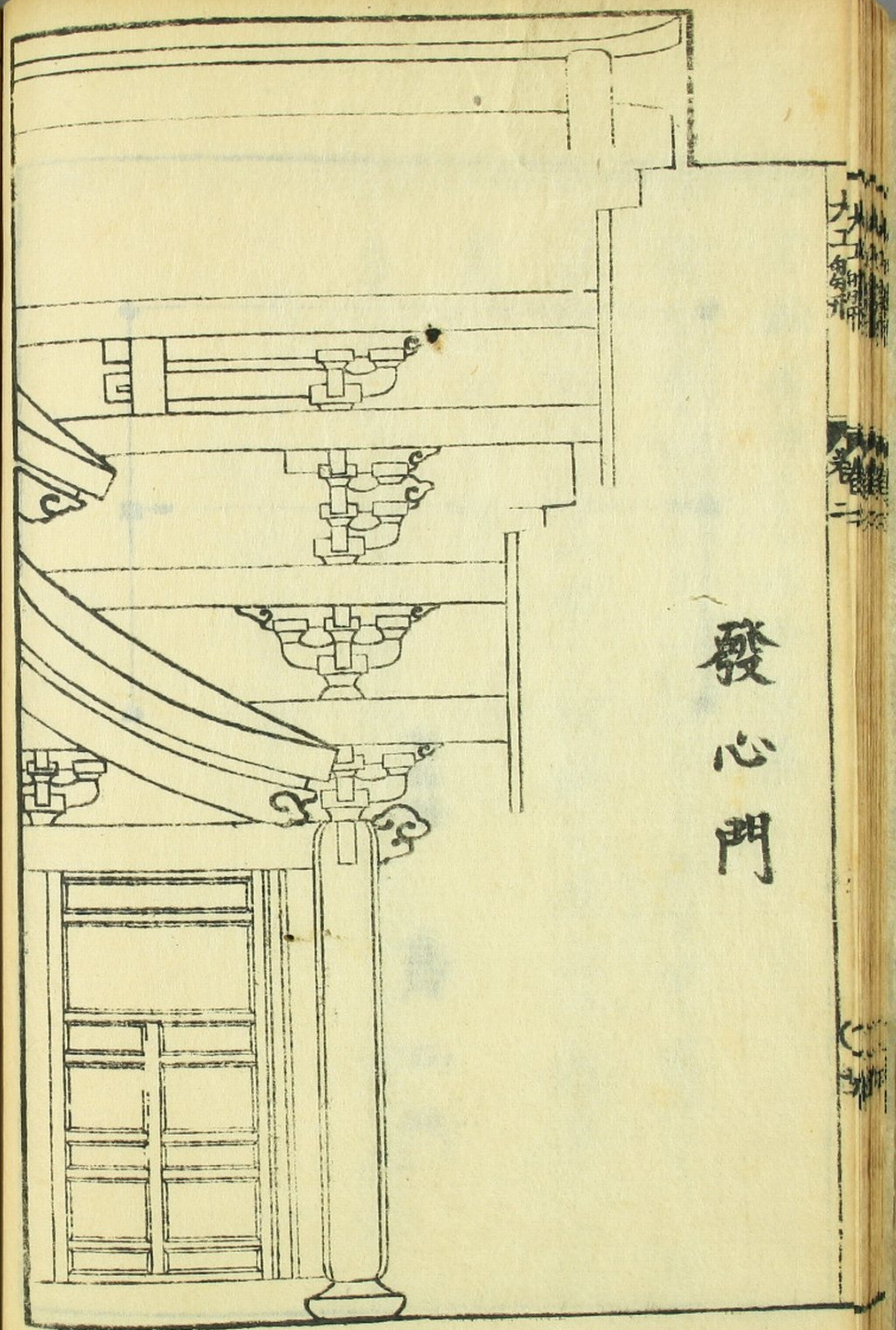
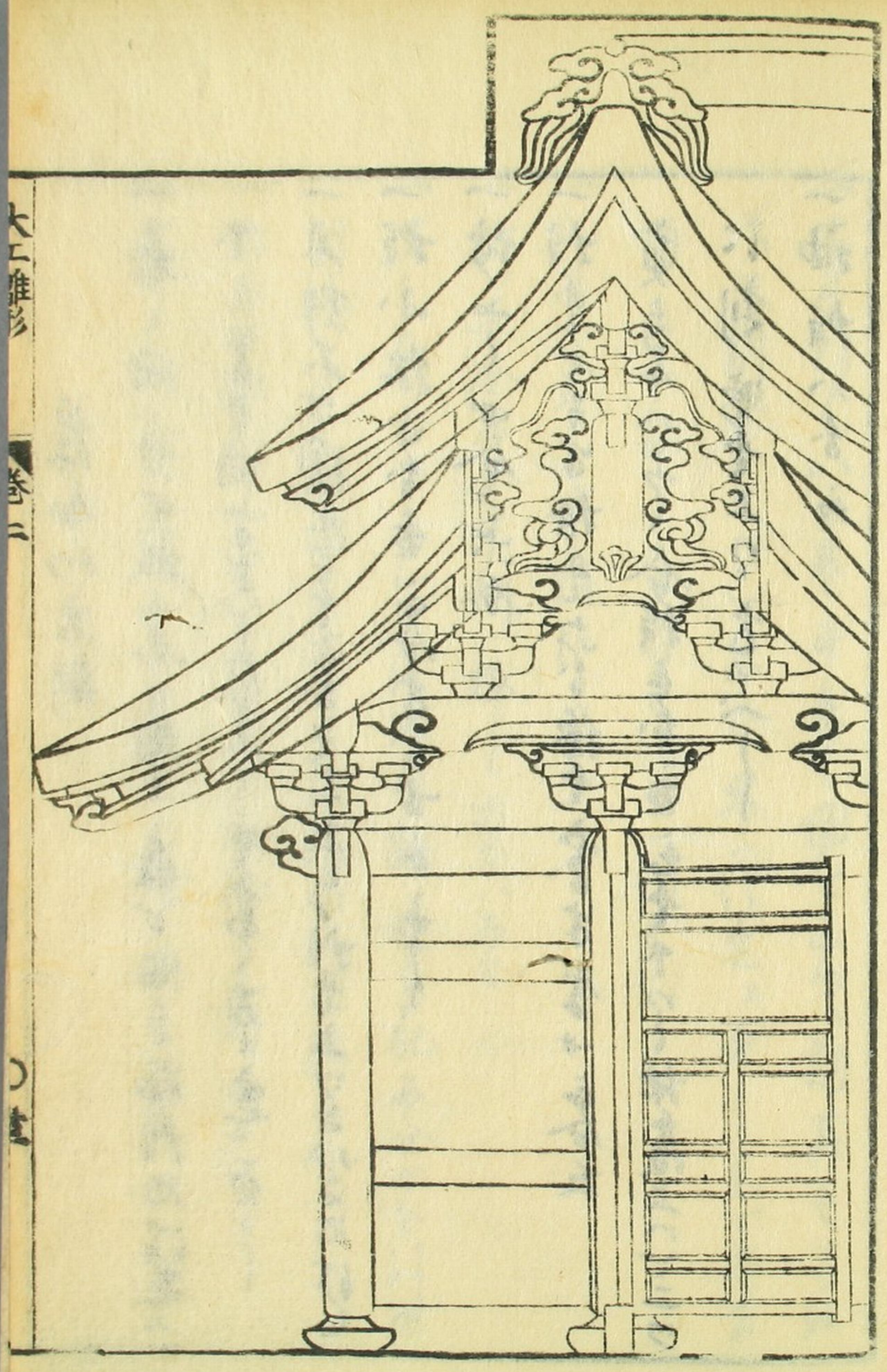
一重く重なるサの一一上よりよく大端下

の海ぐ下桁半分取



廿四枚 敷心門



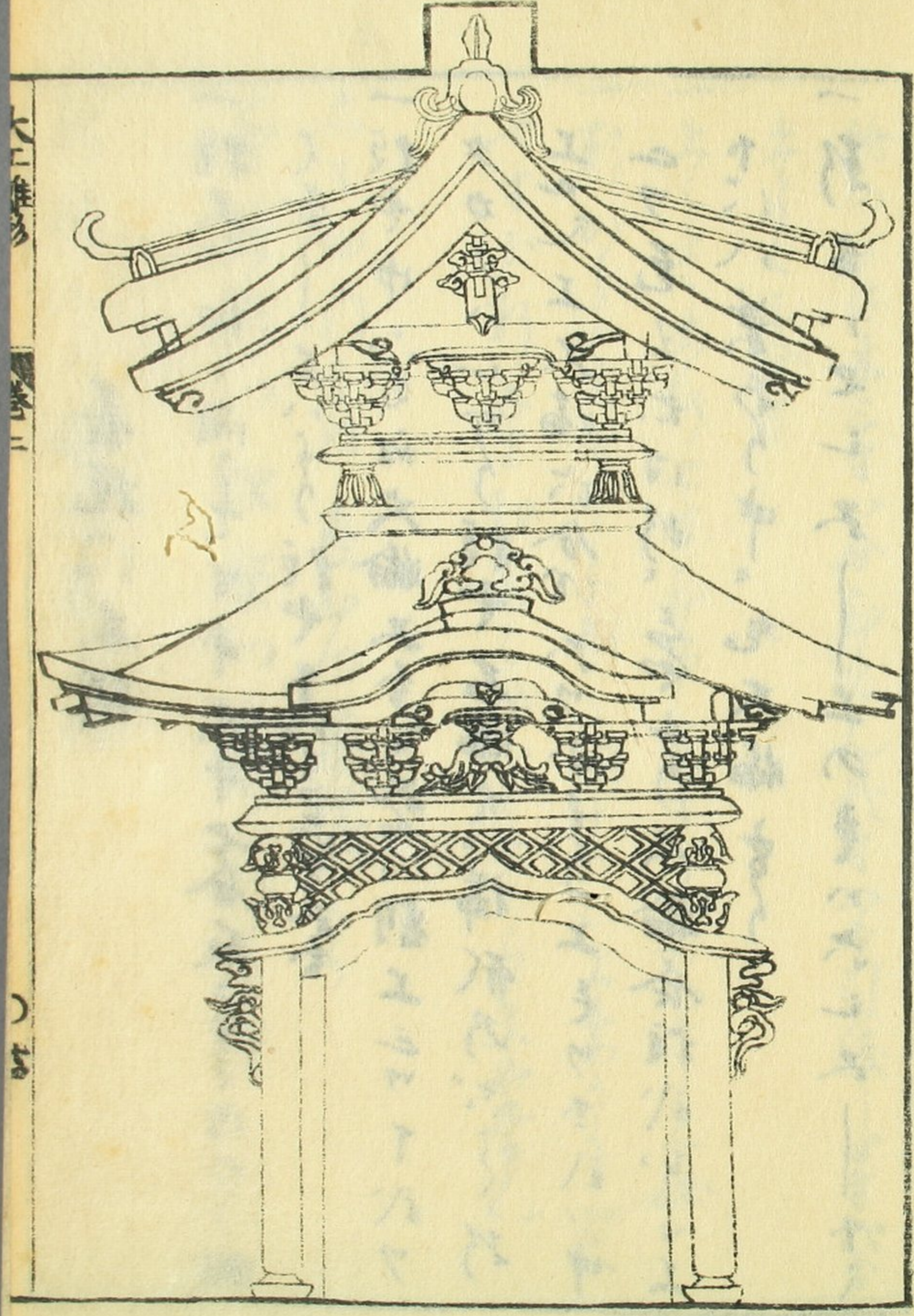


發心門





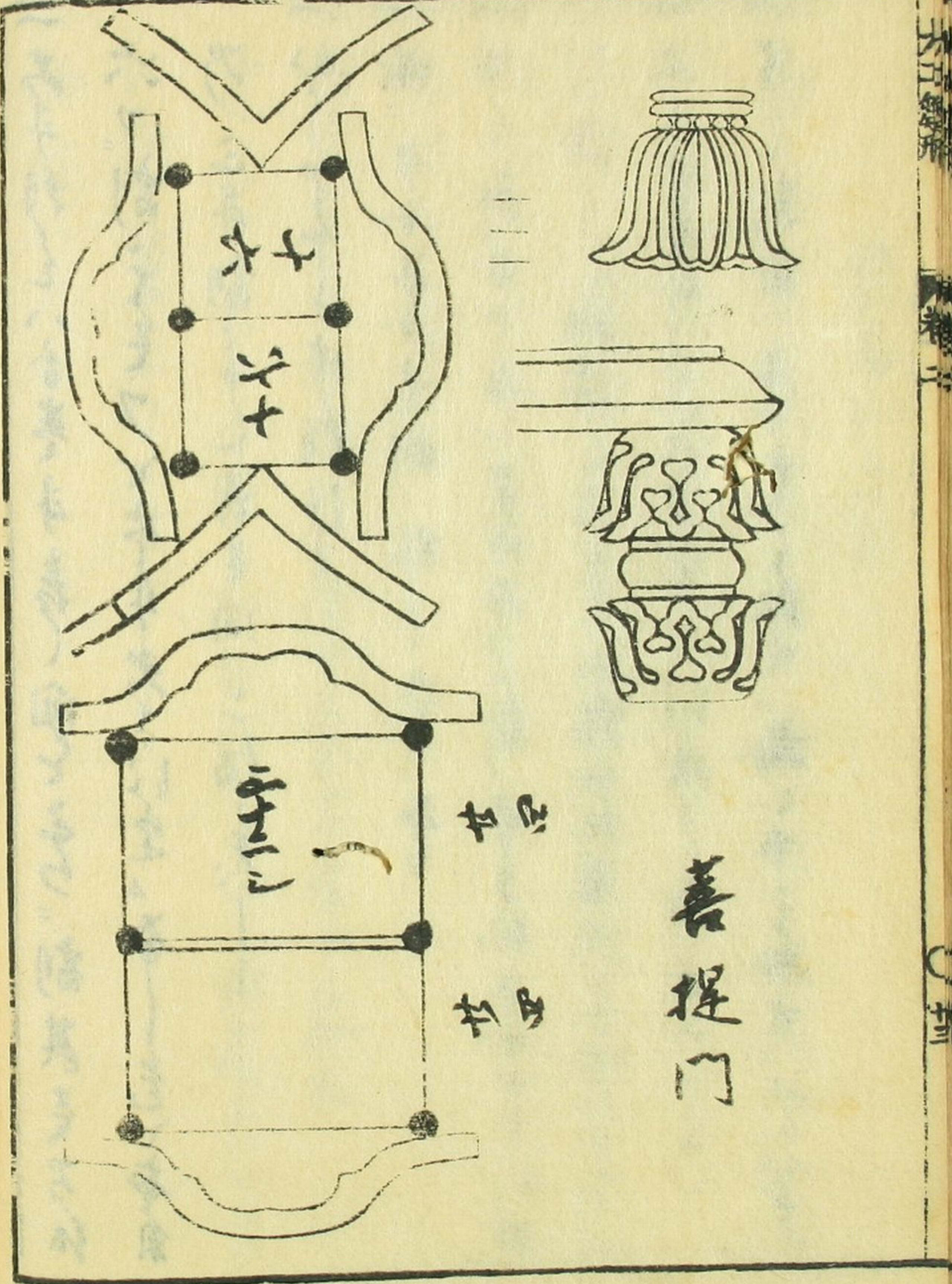




六二推多

卷二

山



六二推多

卷二

山

善提門

古四

古四







丹波縣

卷二

...

丹波縣志卷之二

丹波縣志卷之二

丹波縣志卷之二

丹波縣志卷之二

丹波縣志卷之二

丹波縣志卷之二



